

藤沢

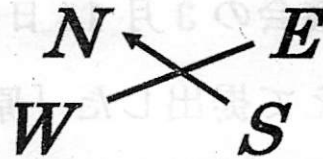
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年4月1日

第215号



- 主 事
- ・脱原発の意見書を市議会に請願、採択される
 - ・善行土地取得問題100条委員会報告
 - ・311 原発卒業湘南パレード
 - ・武田薬品安全協議会設置請願・放射能測定

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

地球温暖化：これからの課題

東日本大震災の惨禍の中で、メディアの報道は大津波・原発事故に傾いていますが、重大な地球環境問題としての、温暖化問題を忘れてはなりません。

昨年 11-12 月に南アフリカ・ダーバンで COP17 (国連気候変動枠組み条約第 17 回締約国会議) が行われ、紛糾してあわや流会かと思われましたが、土壇場になって、(1)先進国の CO₂ 削減義務を定めた、2012 年で終了する京都議定書を 2013 年以後も継続する、(2) 2020 年に米国・中国を含むすべての国が参加する新たな枠組みを始める、を内容とする「ダーバン合意」が採択されました。・カナダは議定書から離脱し、日本は、離脱はしないが削減義務を負わない、ことになりました。義務を負うのは、EU だけです。

今年は 6 月 20-22 日にブラジル・リオデジャネイロで、「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」、11 月 26 日-12 月 7 日にカタール・ドーハで COP18 が行われます。「リオ+20」は 1992 年の歴史的な「地球サミット」後 20 年のフォローアップ会合で、「持続可能な開発に関する新たな政治的コミットメントを確保し、これからの課題を扱う」ために開かれます。COP18 は、2020 年以後の CO₂ 削減の具体的な目標や枠組みを議論する重要な会議となります。COP18 の成否に、地球環境問題の今後がかかっています。

問題は、このような国際政治の遅い動きのペースが、現実の温暖化の進行に対応できるのか、ということです。「気温上昇を産業革命時より +2℃ 以下にとどめる」という目標の達成は、まず無理とみられています。北極海の浮氷が解け、ロシアの北から太平洋へ抜ける新しい航路や北極海の資源開発も、現実味を帯びてきました。科学が目標を示しているのに、政治がついていけません。今後の地球環境はどのようなのでしょうか。これからが正念場です。



川崎 健

みごとに咲いた 玉縄さくら
湘南台公園に 2005 年大船フラワーセンターから 2 本寄贈された

原発からの撤退の意見書請願採択される!

藤沢市議会の3月14日の本会議で、藤沢エコネットが860筆の賛同署名を添えて提出した「原発からの撤退を求める意見書の提出を求めることについての請願」は賛成多数で採択されました。

請願は、2011年3.11東日本大地震・大津波以後、福島第1原発に生じている事態は、原発と人類は共存できないこと、「安全神話」にしがみついて、レベル7の世界最悪原発事故に至ったこと、7月に当時の菅直人首相が「原発に頼らないエネルギー政策を決意」と発言し、福島県、山形県など多くの自治体首長、さらにドイツ、スイス、イタリアなど世界の国々も脱原発を表明し、安全・安心なエネルギー政策を求めていることなどを請願理由としました。そして、「貴市議会が、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発に依存しない再生可能なエネルギー政策を、早急に構築する事を求める意見書を政府に提出する事を求めます。」と請願したものです。

先立つ12日の総務常任委員会では、3対3で賛否同数となり、委員長(塚本昌紀・藤沢市公明党)の裁決で不採択となりましたが、本会議で再審議され、18対16で逆転しました。良識が優ったと言えるのではないのでしょうか。

賛成した会派と議員名は次の通りです。(敬称略)

○神奈川ネットワーク運動・藤沢(青木仁子) ○民主・社民(脇礼子 大矢徹 佐藤清崇 高橋八一 竹村雅夫 永井譲 柳田秀憲) ○日本共産党市議団(加藤なを子 土屋俊則 柳沢潤次)
○さつき会(井上祐介 浜元輝喜 原輝雄) ○みんなの党(有賀正義 友田宗也)
○アクティブ藤沢(原田伴子) ○佐賀和樹(ふじさわ自民党)

反対した会派は次の通りです。

○藤沢公明党(6名) ○ふじさわ自民党(佐賀和樹を除く4名) ○自由松風会(議長渡辺光雄を除く4名) ○自由クラブ藤沢(2名)

藤沢エコネットでは、原発事故後いち早く原発学習会を同3月に開き、被災者支援募金を集めました。その後も学習会を重ね、9.11の「原発卒業だよ、全員集合!」1000人パレードの前後から署名を集め始めました。市議会向けと共に、同じ内容の国会向けの署名も集めています。

放射能汚染問題にも取り組み、測定運動を広げました。今年も引き続き、エネルギー問題の学習会を5月27日に、海の汚染問題を6月24日に計画しています。

震災から1周年の今年3月11日、佐藤福島県知事は脱原発の「ふくしま宣言」を世界に向かって発信しました。世界の流れを脱原発へと転換していきたいと思います。(青柳節子)

放射能 市民の自主測定値

11月25日(HORIBA Radi)

円行公園側溝 0.052 μ Sv/h

すべり台下 0.04 μ Sv/h

キリン遊具の下 0.067 μ Sv/h

12月25日(日)

引治川緑地 親水広場内の広場

高さ5センチ 0.200 μ Sv/h

引治川緑地 親水広場内の階段

高さ5センチ 0.260 μ Sv/h

* 藤沢エコネットニュース3月号に掲載した、天神社の除染は市ではなく、施設管理者の方が除染しましたのでお詫びし訂正いたします。



2012年4月1日

藤沢 号外 エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

藤沢エコネット提出の脱原発請願
が藤沢市議会で採択され、3月
28日、国の関係機関に意見書が
提出されました！



http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

東北大震災・福島第一原発事故から1年となる2012年3月、藤沢エコネットが署名860筆を添えて提出した「原発からの撤退を求める意見書の提出を求める請願」が藤沢市議会で採択され、3月28日、市議会から国の関係諸機関へ意見書が提出されました！

本会議に先立つ総務常任委員会では3対3で同数になり、委員長(塚本昌紀・藤沢公明党)の裁決で不採択となりましたが、本会議で逆転し、18対16で採択されました。

請願・紹介議員になって頂いた、神奈川ネットワーク運動・藤沢の青木仁子さん、民主・社民の脇礼子さん、日本共産党藤沢市議会議員団の加藤なを子さんはじめ、賛成、賛同して下さった議員の方々、多くの市民の皆さまに感謝いたします。

藤沢からの脱原発の声を他の都市へとつなげ、神奈川から、日本中から原発に依存しない再生可能なエネルギー政策の実現を国に求めています！ (裏に意見書掲載)



藤沢市議会議場前で紹介議員と共に喜び合う(2012.3.28)

2012年3月28日に藤沢市議会から国に提出された意見書

原子力発電から撤退し、再生可能エネルギー政策の構築を求める意見書

平成23年3月11日の東日本大震災を起因として発生した福島第一原子力発電所の事故は、国内外に甚大な被害と不安をもたらしている。

この事態は、人類と原子力発電所は共存し得ないこと、また、特に世界有数の地震国である日本は、できるだけ早期に原子力発電から撤退すべきであることを強く示していると言える。

原子力発電技術はその廃棄物さえ安全に処理できないなど、未完成なものであるにもかかわらず、歴代政府は、原子力発電は安全であるという「安全神話」でその推進を図り、莫大な資金を投入してきた。そして、安全対策を置き去りにした結果、今回のレベル7という最悪の事故に至ったのである。

こうした中、平成23年7月13日に当時の菅首相は記者発表において、これからの原子力政策に関し、原子力発電に依存しない社会を目指すべきとの考えを示した。

また、福島県や山形県を初めとする多くの自治体首長も、原子力発電からの撤退の意思を表明し、安全・安心なエネルギー政策への転換を求めている。

さらに、ドイツ、スイス、イタリアなど世界の国々も脱原発を表明しており、今こそ原子力政策を見直し、エネルギー政策の転換を推進しなくてはならないと考える。

よって、政府におかれては、原子力発電からの撤退を決断し、原子力発電に依存しない再生可能なエネルギー政策を早急に構築するよう当市議会は強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月28日

藤 沢 市 議 会

内 閣 総 理 大 臣

経 済 産 業 大 臣

環 境 大 臣

内 閣 府 特 命 担 当 大 臣

(経済財政政策 科学技術政策)

あて

藤沢市善行6丁目の土地取得問題

マスコミ報道等ですでにご存じの問題とは思いますが、昨年の大きな出来事として記しておきたいので掲載します。

2012年3月28日に「100条委員会」は最終報告を出し議会において全会一致で議会採択されました。

経緯

問題の土地は善行6丁目の市街化農地1777m²を藤沢市が1億850万円で先行取得したもので、当時の海老根市長、新井副市長らの不正関与疑惑が浮上していたことです。

この土地は、進入路が1ヶ所しかなく、しかも長い階段を上らなければ利用できません。高低差があり、障がい者や高齢者の利用は困難、使用するには駐車場や水道の設備が必要であり、隣接の土地所有者の協力が不可欠で、市民農園には適していない土地です。

市議会改選前まで3回にわたり100条委員会の設置を日本共産党ほかの会派により要求されてきましたが否決され、成立しませんでした。

2011年、市議会議員選挙後に多数の議員により委員会の設置の案件が採択され、6月に「善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査特別委員会」（100条委員会）が発足し19回に及ぶ委員会の審議で土地の取得の経過、使い道などが明らかにされてきました。

今年3月に100条委員会は最終報告を出しました。

使い道のない土地の購入を進めたことで当時の海老根市長、新井副市長、館野市民自治部長の3人を刑事責任の追及、板垣善行自治連会長を偽証したことについての責任、小林鑑定士の刑事責任を検討すべきと断じました。

この土地の藤沢市土地開発公社に購入させたことは不当であり同公社は市が買い戻しをしない場合は前土地所有者に買い戻すことを含め、購入者を捜したり土地の借り手を捜すなどの努力をすべきとの報告です。

〈藤沢エコネットニュース215号〉

取得価格の経過 市街化農地 1777m²は接続道路が無く 生産緑地に囲まれた土地である。

2003年	松本氏が	3,000,000円	で取得
2009年	藤沢市が	108,500,000円	で取得
2010年	議員有志が鑑定した価格	42,500,000円	
2011年	市民訴え裁判の再鑑定	23,300,000円	
2012年	100条委員会の再鑑定	27,600,000円	

この土地は、接続道路が無いいため、市は元市議矢島豊海氏に口利きされていました。取得のきっかけは善行地区自治連合会が、「市民農園」として取得する旨の陳情が出されたとしていますが、住民総意ではなかったことです。取得時期と陳情時期にも食い違いもあり、証人の尋問には、二転三転しました。

市当局の議会答弁の調整や監査委員への圧力もあったとし、委員会の成果はたくさんありました。

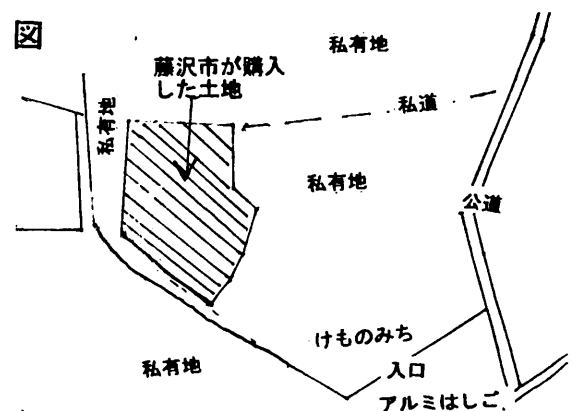
問題の土地の評価は鑑定士により出された評価ですが、あまりにもかけ離れた評価であり、取得価格は返済できるのかはこれからの問題となります。

土地の口利きした元市議とその仲立ちを行った善行市民センター長や自治連会長の責任も明らかであり、計画づくりを行わずに所得依頼した市民自治推進課、土地開発公社、財政課の職員が先行取得依頼の理由や価格に精査せず事務を進めたことも責任の一端があります。

市民農園としての陳情が地域コミュニティ活動用地として取得したことは、利用価値のない土地を上からの指示で買ってこじつけた理由になります。

一方、経済部長、農産課長の対応は、土地調査や理由も明らかにし「市民農園整備に関する基本的な考え方」に基づき回答し一連の経過を記録に残すなど事務処理を適正にしました。

概略図



311 湘南パレード～未来へ歩こう

311 東日本大震災・福島原発事故から1年目の日、時宗総本山の遊行寺に集合し、遊行寺の坊さん約30名の読経があり黙祷が14時46分に行われました。

その後、若いお母さんが「子どもを守るために原発を無くして欲しい」とのあいさつがあり、「イマジン 湘南」のリードでパレードが始まりました。

昨年911パレードが行われた逆コースで、その時は暑くて集会も長く、歩き出すのも時間がかかって、遊行寺がずいぶん遠く感じられましたが、今回も参加し、足取り軽く「歩いて行こう」の歌も少し歌い、子どもたちも最後まで頑張って歩きました。若い人たちを中心に約600人が集まりました。みんなで声を上げて行動することが大切と実感しました。

ゴールの奥田公園には、三浦、葉山、逗子、鎌倉とダイコンをボタンに歩いて来られた方たちが待っていました。全員合唱の「イマジン」は少しむずかしくてうまく歌えませんでした。リードの歌手の歌声にはシビれました。

そしてこの日は、県内、全国いたるところで集会やパレードが行われました。

原発再稼働などどんなにない！ 原発なんか無くてもやっていける。未来へ向かって歩いて行こう！
(甘糟君枝)



ECONET INFORMATION

遠藤笹谷観察会

4月22日(日) 集合：慶応大学バス停 9:10～12:00
谷戸内の春の昆虫などを観察します 雨天中止
主催／藤沢探鳥クラブ ☎ 0467-82-1853 岸

「ヨコハマの放射能は大丈夫？」

小出裕章さん講演 in ヨコハマ
京都大学原子炉実験所助教授



5月26日(土) 12:15 開演

場所 神奈川芸術劇場 (関内駅より徒歩15分)

チケット前売り900円 詳しくは

<http://koidehiroaki.sp1940.co.jp> で

藤沢エコネットから

学習会&総会 4月29日(日) 15:00-17:00

市民活動推進センター会議室
Ustream映像による 放射能問題
どなたでも参加できます。



例会 今年の計画など話し合います

4月14日(土) 13:30～

藤沢市南図書館 第1会議室にて

例会後事務局会議

学習会「脱原発に向けた自然エネルギー戦略」

講師 本島勲さん(元電力中央研究所)

5月27日(日) 14:00～

藤沢名店ビル6F イベントホール

振込方法が変わりました

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 フジサエコネット

(従来の振込方法も利用できます)

*会費・購読料の未納の方は納入にご協力下さい

会員募集・年会費・購読料→3000円

《編集後記》 やっと咲き出した桜の花、入学式や新年度のスタートに欠かせない風景であるが今年は少し遅れた。市役所内部も副市長2人をはじめ、各部課長もたいへん変わったので、新たなスタートが期待され、前市長のようなトップダウンにはならないよう願う。藤沢エコネットも新年度を準備する時期になり、あれこれと企画をあげているので、皆さまのご希望の声を届けて頂きたい。ボランティアですがいっしょに環境のことを取り組みませんか。
(H)